

九州国立博物館開館15周年記念・大宰府史跡指定100年記念 特集展示

筑紫の

# 神と仏



令和2年5月19日(火) — 8月30日(日)

開館時間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 毎週金・土曜日は午後8時まで夜間開館(入館は午後7時30分まで)

休館日／毎週月曜日(ただし8月10日(月・祝)は開館)

主催／九州国立博物館・福岡県

観覧料／一般700円、大学生350円、高校生以下・18歳未満および満70歳以上の方は無料

会場／九州国立博物館 4階 文化交流展示室 第6・7室他

※令和2年5月19日(火)・6月21日(日)の期間は特別展「古代エジプト展」令和2年7月21日(火)・8月30日(日)の期間は、特別展「海幸山幸 折りと恵みの風景」の半券でもご覧いただけます。5月19日(火)は国際博物館の日のため文化交流展示室は無料でご覧いただけます。※各種割引の詳細については、九博公式HPをご覧ください。



九州国立博物館

太宰府天満宮横

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2 [問い合わせ] NTTハローダイヤル050-5542-8600 (午前8時～午後10時・年中無休)  
右から 国宝 梵鐘(観世音寺)、土馬(九州歴史資料館)、人面墨書土器(大野城市教育委員会)、人形(福岡市埋蔵文化財センター) 背景:花立山(福岡県小郡市・筑前町)

# 国宝・重要文化財 21件

菅原道真が聴き入った鐘

国宝 梵鐘  
飛鳥時代 観世音寺



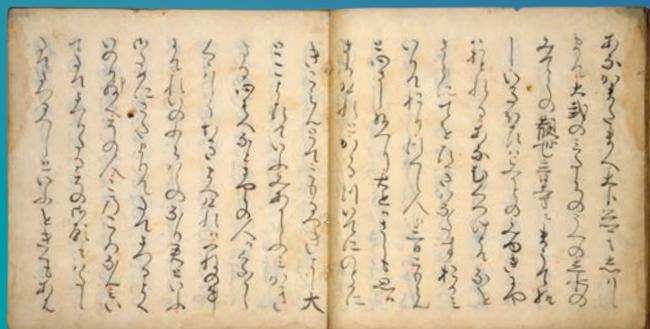
国宝

方格規矩鏡  
古墳時代 宗像大社



神宿る島の鏡

紫式部も知っていた大宰府の大寺



重文 源氏物語 鎌倉時代 文化庁 展示期間:5月19日~7月5日

日本最大の大刀



国宝 刀装具  
飛鳥時代 宮地嶽神社

かぶつちのたち 頭椎大刀(再現文化財)  
平成時代 九州国立博物館

## 祈りの協奏

国際交流の窓口を担った大宰府は、「天下之一都會」と称される繁栄を誇り、観世音寺や国分寺等の大寺院も建立され、筑紫随一の宗教都市でもありました。しかし、その繁栄の陰では、「天然痘」の流行、あるいは「藤原広嗣の乱」のような政争による深刻な社会不安も傍に控えていたのです。これらの不安に対し、国家の安寧、あるいは日々の平穏を願う人々は、神や仏に祈りを捧げてきました。

特集展示『筑紫の神と仏』では、過去に捧げられた祈りの姿、そして今日まで連続と続く祈りの姿を、寺社に伝わる文化財や発掘調査の出土品から迫ります。一つ一つの祈りを読み解くとき、筑紫を覆う幾重もの信仰の実態が明らかになるでしょう。

夜のミュージアムトーク [時間]18:00~18:30 [会場]九州国立博物館・文化交流展 第6・7室他 ※参加申し込み不要 ※聴講無料(文化交流展観覧料は必要)

7月11日(土)「観世音寺の鐘」楠井 隆志 / 7月25日(土)「古代の社」小嶋 篤 / 8月8日(土)「古代寺院の瓦」齋部 麻矢

「大宰府学研究」連続講座

## 「筑紫の水・人・祈り」

5/23(土)	第1回 水と祈り	「風水思想と古墳・都市」 「水辺の祭祀」	下原 幸裕 (福岡県教育庁) 小嶋 篤 (九州国立博物館)
6/20(土)	第2回 水が繋げる	「交流の島・対馬の仏」 「航路でつながる信仰」	大澤 信 (九州国立博物館) 山内 亮平 (筑前町教育委員会)
7/11(土)	第3回 水を制する	「水利の技術と思想」 「利水と信仰」	朝岡 俊也 (福岡市経済観光文化局) 中島 圭 (朝倉市教育委員会)
8/ 8(土)	第4回 水で守る	「基肄城跡と水門」 「古代山城と水源」	主税 英徳 (基山町教育委員会) 小澤 佳憲 (九州国立博物館)

■時間/13:00~15:00(開場12:30) ■会場/九州国立博物館1階研修室

※定員40名(先着順、参加申し込み不要) ※聴講無料

※新型コロナウイルス感染予防・拡散防止のため、講座の中止・延期等の可能性があります。お出かけ前に、九州国立博物館HP (www.kyuhaku.jp) で最新情報をご確認ください。



交通案内 【西鉄電車】西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線(特急約16分/急行約18分)で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線(約5分)で西鉄太宰府駅下車、徒歩約10分 ※特急/急行料金不要 【JR】JR博多駅からJR鹿児島本線(快速約15分)でJR二日市駅下車、JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約6分)、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用 【西鉄バス】博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)から西鉄太宰府駅下車(所要時間約40分)、徒歩約10分